



日本共産党 京都市会議員  
ひぐち英明  
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください!

# こんにちは ひぐち英明です

HP: ひぐち英明

検索

第322号 2017年9月5日

連絡先: 日本共産党左京地区委員会 Tel 761-6341

: 左京生活相談所

Tel 781-6622

## 進んだ事例を学び京都市でも導入を 共産党市議団で他都市を視察

8月は共産党市議団の他都市調査で各地を訪問しました。

東京都千代田区では、民泊を規制する条例を強化した点について聞き取りました。



視察先でお礼のあいさつ

### ■ 「命を守る」ためにも民泊事業者の常駐は当然

千代田区でも京都市と同様に、民泊事業者が急増したため、それまでは当然のこととして要綱などで指導してきたルール、例えば、従業員の常駐や、各種法律の順守などを、条例にあらためて書き込んだとのことでした。従業員の常駐体制については、「宿泊者の安全対策や火災などの災害対応など、命に関わることを考えれば従業員が常駐するのは当然で、『管理者が近くについて駆ければ大丈夫』などということはありません」と担当者が説明をされていたことに、「命を守る」という行政としての強い意志を感じました。

京都市では、住宅密集地でも民泊事業が違法状態で行われている場合が多くあり、適法の場合でも、周囲の住民に多大な被害を及ぼしている事例が後を絶ちません。ところが京都市は、民泊事業者を増やすことを目標に掲げているため、従業員の常駐どころか、置かなくてもいい特例を条例に盛り込む規制緩和を行っています。市民や旅行者の「命を守る」という姿勢が、千代田区とは全く異なっています。

観光客が増えれば京都が活性化する、などという単純な発想をあらため、住民と旅行者の命を守り、双方とも快適にすごせるまちにして行くことをしっかりと追求するべきです。

### ■ 市民の生活に寄り添わない行政

千葉市では、国民健康保険料や市税の滞納対策の取り組みについての聞き取りをしました。

市民の滞納は「債権」と呼ばれ、その対策を「強化」するために「債権管理条例」をつくる、各種の滞納対策だけを行う専門の部署をつくる、回収作業の民間委託を行う、などをこの間行ってきたとのことでした。

滞納対策専門部署の設置に関しては、「例えば健康保険の窓口

で他の業務をこなしながら、滞納の対策を行おうとしても、効率が上がらない。滞納対策は特別の専門性がある」とのこと。また、滞納の回収を民間業者に委託している件については、委託料は歩合制、つまり回収額に応じての支払になっているとのこと。これには驚きました。

これらの話を聞く限り、市民の生活に寄り添うという姿勢が全く感じられません。保険料や税金などを滞納することがよくないことであるのは間違いありません。しかし、市民の生活に寄り添うならば、その方が生活に困っていることはないのか、病気などで働きたくても働けないような事態に陥っていないか、などの聞き取りを行い、行政としての支援を考えることこそ重要な役割です。

京都市でも、市長は滞納の回収率がどれだけ上がったかだけ職員に求めがちであり、必要最低限の生活費すら差押えが行われる傾向があります。わが党は、こうした事例を議会で紹介しながら、滞納の対策を行う際には、市民の相談にのること、必要であれば、生活保護の窓口につなぐことも含めて丁寧な対応を行うよう求めてきています。こうした追及の中で、「丁寧な対応を行う」と議会では答弁をさせています。

### ■ 他都市の事例に学び市政に反映

他都市のいい事例は本市に取り入れさせ、よくない事例は、そうならないよう、常に行政をチェックしながら、議会での活動を行っていきます。

## 写真トピックス



←修学院後援会の納涼のついでに市政報告



19日恒例の戦争法廃止を求める「左京みんなのデモ」と「市役所前集会」→

### ○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

長男(高校2年)がテレビを見ながら何気なく妻に「お父さんと結婚して後悔したことある?」と聞いたそうです。妻が「思っていたより性格が細かい(面倒くさい)とは感じているかな」と答えたところ「ああ、そうそう」と同調したとのこと。それを横で聞いていた長女(高校3年)が「お母さんは性格が大雑把すぎるで」とぼつりとひと言。その通り!